

事務事業名		被災者健康づくりサポート事業		<input type="checkbox"/> 実施計画登載事業 <input type="checkbox"/> 合併建設計画登載事業	
政策体系	政策名	04 安心が確保されたまちづくりの推進		事業期間 <input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始 24 年度～) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 【計画期間】 年度～ 年度 ※全体計画欄の総投入量を記入	
	施策名	17 生涯にわたる健康づくりの推進			
	基本事業名	01 保健・予防活動の充実			
根拠法令				予算科目 会計 01 款 04 項 01 目 01 事業 10	
所属	部課名	生活福祉部健康推進課			
	課長名	菅原 松子			
	係名	成人保健係	電話	0192-27-1581	
	担当者	鈴木 綾子	内線	-	
事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述) 大船渡市復興計画に基づき、長期にわたり応急仮設住宅等での生活を余儀なくされている被災者を対象として、健康状態の把握や二次的健康被害を予防するため、保健指導、調理実習や栄養指導等の健康づくり事業を行うことにより、健康状態の悪化予防や健康不安の解消と住民同士の交流促進を図ることを目的とする。平成26年度は①検診受診率向上対策事業、②ロコモ体操普及事業、③かるしお講演会の3つの事業を実施した。平成27年度は、①かるしお料理教室・講演会、②睡眠シンポジウム、③各種運動教室の事業を計画している。岩手県に被災者健康づくりサポート事業費補助金交付申請(10/10。上限1,500千円)し、交付決定後、事業を実施する。事業終了後、実績報告、補助金請求し、翌年4月に岩手県から補助金の支払いとなる。				全体計画(※期間限定複数年度のみ)	
				総投入量 (千円)	国庫支出金 都道府県支出金 地方債 その他 一般財源 事業費計(A) 0
					正規職員従事人数 延べ業務時間 人件費計(B) 0
					トータルコスト(A)+(B) 0

(1) 事務事業の目的と指標				
① 手段(主な活動) 前年度実績(前年度に行った主な活動) ①検診受診率向上対策事業、②ロコモ体操普及事業、③かるしお講演会  今年度計画(今年度に計画している主な活動) ①かるしお料理教室・講演会、②睡眠シンポジウム、③各種運動教室	⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標) 名称 単位 ア 食生活改善交流会参加世帯数 件 イ 講演会等利用者数 人 ウ	⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標) 名称 単位 カ 応急仮設住宅入居者戸数 件 キ 40歳以上の人口 人 ク		
			② 対象(誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等 東日本大震災被災者	⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標) 名称 単位 サ 食生活改善交流会割合 % シ 特定健診受診率 % ス
			④ 結果(基本事業の意図:上位の基本事業にどのように貢献するのか) 健康に気をつけてもらう	

(2) 総事業費・指標等の推移									
		年度	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	
投入量	事業費	国庫支出金	千円						
		都道府県支出金	千円		7,907	10,505	3,404	5,273	5,273
		地方債	千円						
		その他	千円						
		一般財源	千円						
	事業費計(A)		千円	0	7,907	10,505	3,404	5,273	5,273
	人件費	正規職員従事人数	人		10	12	11	11	11
		延べ業務時間	時間		4,838	5,077	4,095		
		人件費計(B)	千円	0	19,352	20,308	16,380	0	0
		トータルコスト(A)+(B)		千円	0	27,259	30,813	19,784	5,273
⑤活動指標	ア	件		322	148				
	イ	人				716			
	ウ								
⑥対象指標	カ	件		1,736	1300		26050		
	キ	人							
	ク								
⑦成果指標	サ	%		18.5	11.4				
	シ	%				42			
	ス								

事務事業ID	1565	事務事業名	被災者健康づくりサポート事業
--------	------	-------	----------------

<b>(3) 事務事業の環境変化・住民意見等</b>	
① この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？	平成24年度新規事業。東日本大震災を受け、岩手県が介護サービス施設整備等臨時特例基金管理運営要領に基づき設置された基金を活用して行った事業
② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)は、開始時期あるいは後期基本計画策定時と比べてどう変わったのか？	被災者等が対象
③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？	被災者等に対する健康支援の充実

2 評価の部(SEE) \* 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由】⇒ この事務事業の目的は当市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？ 各教室等のアンケート結果等から、各自の健康づくりの一助になっていることが推察される。
	② 公共関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由】⇒ なぜこの事業を当市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？ 県の全額負担であり、一般財源ではないため有効活用をしている。
	③ 対象・意図の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由】⇒ 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？ 事業の対象は、被災者となっており、市民全員を広義の被災者と捉えて事業を実施している。
有効性 評価	④ 成果の向上余地	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】⇒ 成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？ 被災者の健康の維持増進を目的としている事業であることから、教室等の参加者数を増加させる余地がある。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響	<input type="checkbox"/> 影響無 ⇒【理由】⇒ ⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 ⇒【その内容】⇒ 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？ 検診受診率の低下や健康への関心が低くなる等の影響が考えられる。しかし、東日本大震災による被災者のための事業であることから、復興とともに通常事業で展開することが望まれる。
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性	<input type="checkbox"/> 他に手段がある ⇒ (具体的な手段, 事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】⇒ ⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】⇒ 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？ 東日本大震災による被災者のための補助事業であるため、統廃合は困難である。
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】⇒ 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など) 補助金額の限度額内で申請しているため、削減の必要はない。
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】⇒ やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずにより正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど) 東日本大震災による被災者のための補助事業であり、通常の事業に加えて実施しているため、出来る限り委託等の対応とし職員の負担の軽減を図っている。
	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】⇒ 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？ 市全体を被災地とし、市民全員を被災者と捉えている。

事務事業ID	1565	事務事業名	被災者健康づくりサポート事業
--------	------	-------	----------------

### 3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

<b>(1) 1次評価者としての評価結果 (2枚目と整合を図ること)</b> ① 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ② 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ③ 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④ 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり		<b>(2) 全体総括(振り返り、反省点)</b> 市全体の健康度を上げるためには、より多くの被災者の参加を促すことが必要である。																					
<b>(3) 次年度の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 (ただし、廃止・休止・現状維持は他と重複不可)</b> <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統合・連携 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 事業のやり方改善 ( <input checked="" type="checkbox"/> 有効性改善 <input type="checkbox"/> 効率性改善 <input type="checkbox"/> 公平性改善 ) (上記方向性に対する具体的な内容) 単年度の補助事業ではあるが、市民の健康度を上げるには、長期的な視点も必要のため、翌年度も見据えながら事業を展開していく。また、多くの市民が参加することが市民の健康度があがることにつながるため参加者数増加にむけた取り組みを行っていく。		<b>(4) 改革・改善による期待成果</b> 左記(3)の改革改善案を実施した場合に期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。 (廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td>●</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上		●		維持			×	低下		×	×
		コスト																					
		削減	維持	増加																			
成果	向上		●																				
	維持			×																			
	低下		×	×																			
<b>(5) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策又は特記事項等</b> 通常の事業として継続していくものと、被災者支援として期間限定で実施するものと精査していく必要がある。																							

(職名) ※原則として施策の主管課長 (氏名)

### 4 事務事業の2次評価結果

2次評価者	健康推進課長	菅原松子
-------	--------	------

<b>(1) 1次評価結果の客観性と出来具合</b> ① 記述水準(1次評価の記述内容を読んだ段階で選択) <input type="checkbox"/> 記述不足でわかりにくい <input checked="" type="checkbox"/> 一部記述不足のところがある <input type="checkbox"/> 記述は十分なされている ② 評価の客観性水準(2次評価を行った後に総合的に判断して選択) <input type="checkbox"/> 客観性を欠いており評価が偏っている(事務事業の問題点、課題が認識されていない) <input type="checkbox"/> 一部に客観性を欠いたところがある <input checked="" type="checkbox"/> 客観的な評価となっている(事務事業の問題点、課題が認識されている)																							
<b>(2) 2次評価者としての評価結果</b> ① 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ② 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③ 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④ 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり		<b>(3) 評価結果の根拠と理由</b> 適切に事務執行されている。																					
<b>(4) 次年度の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 (ただし、廃止・休止・現状維持は他と重複不可)</b> <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統合・連携 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 事業のやり方改善 ( <input type="checkbox"/> 有効性改善 <input type="checkbox"/> 効率性改善 <input type="checkbox"/> 公平性改善 ) (上記方向性に対する具体的な内容) 継続する場合の財源の確保が課題であるが、目的、必要性を再検討しながら、実施事業の有効性を確保する必要がある。		<b>(5) 改革・改善による期待成果</b> 左記(4)により期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。また、1次評価と内容が異なる場合には、1次評価の結果も「○」で記入する。 (廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>●</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上		○		維持		●	×	低下		×	×
		コスト																					
		削減	維持	増加																			
成果	向上		○																				
	維持		●	×																			
	低下		×	×																			

### 5 最終評価結果

<b>(1) 行政経営推進会議等での指摘事項</b>
----------------------------